

令和4年度の子育て・教育関連の主な事業

※ ㊦は「新規事業」を、㊧は今までの事業を拡充したことを表しています。

《基本方針①》

まち全体で子どもを育てます

㊦ 母子保健事業、重層的支援体制整備事業 2,554 万円（前年度 640 万 5 千円）
ネウボラ拠点「産前産後サポートセンター」を開設します。

㊦ 母子保健事業 475 万 9 千円
4 か月児健診を、個別健診で行います。

㊦ 母子保健事業 197 万 4 千円
産後 1 年未満の全産婦を対象に、育児・母乳外来等利用に対する助成を行います。

産後ケア事業 988 万 1 千円（前年度 1,048 万 4 千円）
産後のメンタル不調等を早期に発見し、産後うつを予防するため、従来の産後 1 か月健診費用の助成に加え、産後 2 週間健診費用の助成を行います。

こども医療費給付事業 3 億 2,191 万 3 千円（前年度 2 億 8,621 万 6 千円）
こどもの医療費に係る経済的な負担を軽減し、子育て世帯を支援します。

私立保育園運営事業 6,750 万 9 千円（前年度 7,258 万円 7 千円）
私立認可保育園に勤務する保育士の就労継続及び新規雇用の拡大のため「がんばる保育士応援金」を給付します。また、私立認可保育園が保育士の業務負担軽減を図るために行う保育補助者雇用などに係る費用に対して補助を行います。

保育園管理運営事業 695 万 7 千円（前年度 350 万 7 千円）
登降園管理等の I C T 化により、保育士の事務負担を軽減させるとともに、保育の質の向上や離職防止を図ります。

㊦ 保育園管理運営事業 20 万円
木材（市産材）を利用し、保育園の木製複合遊具を更新します。

児童会管理運営事業 2,383 万円（前年度 2,212 万 4 千円）
民間事業者が行う留守家庭児童会の運営にかかる経費を補助します。

コミュニティ・スクールの拡充（学校教育振興一般事業、地域学校協働活動事業）

48万6千円（前年度 24万6千円）

学校運営協議会で学校と保護者や地域住民が、ともに知恵を出し合い、その意見を学校運営に反映することで、子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校」を目指し、地域の活性化を図ります。

地域学校協働活動事業

1,620万5千円（前年度 1,629万2千円）

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える仕組みづくりを進めるとともに、地域の活性化を図ります。

学校教育振興一般事業、大野学校給食センター管理運営事業

141万5千円（前年度 164万4千円）

学校給食フェスタの開催や、小・中学校における食育教材の製作を行います。また、食育啓発リーフレットの作成、親子給食調理体験等を実施します。

子ども通学路安全対策事業

475万円（前年度 1,085万2千円）

日常的に通う通学路において、交通安全対策を強化します。

㊦ 県立佐伯高等学校の魅力化（中山間地域振興事業）

1,824万8千円（前年度 1,217万8千円）

県立佐伯高等学校の存続に向けて、同校の魅力発信、公営塾の開催、下宿や遠距離通学にかかる経費の一部を補助します。

子どもの学習・生活支援事業

882万8千円（前年度 893万2千円）

生活保護世帯及び生活困窮世帯の子どもに対し、学習の機会や居場所を提供するとともに、保護者の相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行います。

《基本方針②》

たくましく自立し、学び合い高め合う教育を推進します

㊦ 学校教育振興一般事業

1,637万2千円（前年度 384万4千円）

I C T指導員、I C T支援員を配置し、I C T機器の効果的な利活用のための人的支援を行います。

㊦ 学校教育振興一般事業

2,304万4千円（前年度 2,240万9千円）

学校における働き方改革の推進のため、教務事務支援員及び部活動支援員を配置します。

㊦ 小学校 I C T 活用教育推進事業、中学校 I C T 活用教育推進事業

1 億 7,806 万 2 千円（前年度 1 億 2,803 万 8 千円）

廿日市市立学校の児童生徒が、高度情報通信社会に対応できるよう、授業等で情報教育機器を活用できる環境を整備、維持管理します。

学校図書館活用推進事業

2,700 万円（前年度 2,280 万円）

小学校 6 校、中学校 3 校の学校図書館の環境整備及び書籍の更新を行います。

国際理解教育事業

5,748 万 5 千円（前年度 5,445 万円）

子どもたちが、異文化を理解し、外国の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるため、A L T（外国語指導助手）を全幼・小・中学校に配置します。

小学校リニューアル事業、中学校リニューアル事業

2 億 9,394 万 4 千円（前年度 1 億 835 万 3 千円）

バリアフリー化及び老朽化対策に取り組みます。

小・中学校空調設備整備事業

（R 3 ～ 4 年度） 4 億 7,123 万 8 千円

1 年を通じて児童生徒が安全で快適な学校生活を送り、集中して学習できる環境を整えるため、普通教室に続き、特別教室にエアコンを整備します。

㊦ 小学校管理運営事業、中学校管理運営事業

3,420 万円

感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するため、必要となる保健衛生用品及びデジタル教科書等を購入します。

㊦ 小学校教育振興一般事業、中学校教育振興一般事業

546 万 9 千円（前年度 500 万 7 千円）

本市の小中学校に遠距離通学をしている児童生徒の通学用定期券の購入費用を補助します。

不登校総合対策事業

1 億 2,731 万円（前年度 1 億 2,749 万 2 千円）

こども相談室を設置し、青少年指導員を配置し、不登校児童生徒の適応指導に関わる相談、学習指導等を行うことにより、不登校児童生徒の学校復帰を支援します。子どもつながり支援員を各校へ配置し、気になる児童生徒にきめ細やかな支援を行います。

《基本方針③》

いのちを大切にすることを育みます

学校教育振興一般事業

2,581万2千円（前年度 2,516万7千円）

生徒指導指導員、生徒指導相談員、特別支援教育アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等専門家の支援を受け、相談体制を充実させるとともに、いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会を活用し、いじめへの適切な対応とともに、いじめの未然防止に努めます。

自殺対策事業（健康増進事業）

24万8千円（前年度 61万9千円）

新型コロナウイルス感染症の影響により自殺へのリスクが高まっている中で、市職員や地域でボランティア活動を実施している団体等に対してゲートキーパー養成講座を実施し、地域での見守りを強化します。

《基本方針④》

ふるさとに誇りと愛着をもつ心を育みます

文化財保存・保護事業

384万3千円（前年度 448万4千円）

地域に存在する文化財（指定・未指定）を把握し、その周辺環境を含めて総合的に文化財を保存・活用するための指針として、「文化財保存活用地域計画」を策定します。

文化財保存・保護事業

4,429万2千円（前年度 5,792万9千円）

文化財の保存・継承・活用を進めるため補助を行います。

文化財保存・保護事業

43万5千円（前年度 20万8千円）

「特別史跡及び特別名勝厳島」の適正な保存と管理を行うため、専門的見地からの意見を聞く体制を強化します。

シティプロモーション事業

2,500万円（前年度 2,800万円）

廿日市市に関わる「先生」から、本市での暮らしや仕事、遊び、スポーツなど多様な魅力を学ぶことで、廿日市市への愛情や誇りを育むと共に、認知度・好感度の向上を図るための講座を実施します。また、市内の小中高校の「ふるさと学習」の支援を行います。

郷土資料館管理運営事業

153万7千円

吉和歴史民俗資料館を吉和支所複合施設に移転する準備を行います。

宮島歴史民俗資料館整備事業

1,135万2千円

宮島歴史民俗資料館の整備に向けて、基本計画を策定します。

生涯にわたる一人ひとりの学びを支援します

スポーツ推進事業

170 万円（前年度 300 万円）

女子野球タウンとしての認知を広げるため、野球教室などのPRイベントを開催します。

スポーツ推進事業

130 万円（前年度 180 万円）

トップアスリートを招いたスポーツ教室を開催します。

⑤ スポーツ推進事業

130 万円

広島ドラゴンフライズと連携し、ドラフラベース設立の機運醸成を図ります。

⑤ スポーツ推進事業

700 万円

官民一体となった廿日市市ウエスタン・リーグ開催実行委員会を立ち上げ、ウエスタン・リーグ開催を盛り上げるとともに地域の活性化を目指します。

⑤ 公園整備事業

3,783 万 6 千円（前年度 1,480 万円）

スポーツ環境を整備するため、HIROHAI 佐伯総合スポーツ公園やグローバルリゾート総合スポーツセンターサンチェリーにある有料公園施設の改修工事を進めます。

市民センターリニューアル事業

1,651 万円（前年度 9,706 万 4 千円）

四季が丘市民センター、地御前市民センターのエレベーター・トイレ等、玖島ふれあいセンターのトイレ等の工事実施設計を行います。

⑤ 図書館管理運営事業

118 万 8 千円

施設内のどこでも本を読める環境を整えるため、不正持ち出し防止用ICシステムを導入します。
(大野図書館)

体育施設管理運営事業

7,400 万円（前年度 3,500 万円）

吉和グラウンドの改修工事を行い、市民がスポーツに親しむことができる場を提供します。